

| 科目名 | | 建築デザイン実習Ⅱ | | | |
|---|--|-----------|---------|--|----|
| 担当教員 | | 中野 聖奈 | 実務授業の有無 | ○ | |
| 対象学科 | 建築デザイン科 | 対象学年 | 2 | 開講時期 | 前期 |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 1.5 | 時間数 | 48 |
| 授業概要、目的、授業の進め方 | <p>年々進化を続け、新たな建築業界の主流になる「BIM」というツールを学び、身に付けていく。オートデスク株式会社のBIMソフト「Revit」の基本動作から、自分の表現したいことを適切に表現する方法や、実務で使える豆知識などを学んでいく。</p> <p>また、近年各業界で注目されている「REVIT Architecture ユーザー」試験の合格を目指し、正確な表現動作、知識、スピードを身に付ける。</p> | | | | |
| 学習目標 (到達目標) | 基本動作をマスターする。オリジナルの作品を自由にモデリングできる。(木造住宅程度) | | | | |
| テキスト・教材・参考図書・その他資料 | はじめてのRevit & Revit LT オートデスク認定資格プログラム 試験対策/配布資料 | | | | |
| NO. | 授業項目、内容 | | | 学習方法・準備学習・備考 | |
| 1 | 課題①オリジナル住宅のモデリング・表現方法 | | | 1年次に取り組んだ住宅計画演習の課題を再エスキスし、オリジナルの木造住宅のモデリングを行う。 | |
| 2 | 課題の読み取り・プランニング | | | プランニングの基礎を確認するとともに、自力でオリジナルのプランニングを行う。 | |
| 3 | プランニングの再エスキス | | | 教員からの添削をもとに、より良いプランに訂正する。 | |
| 4 | Revitでモデリング | | | Revitの基本的な動作を確認するとともに、教員のデモンストレーションをもとにオリジナルプランのモデリングを行う。 | |
| 5 | Revitで図面作成 | | | 配置図兼1階平面図、2階平面図、断面図2面、立面図4面、2階屋根伏図、外観パース2面、内観パース1面をA2で配置し、A3出力で提出。 | |
| 6 | REVIT Architecture ユーザー試験対策 | | | 過去問やテキストに繰り返し取り組み、試験に合格する力を身に付ける。併せて動作の正確性やスピードを身に付ける。 | |
| 7 | テキスト解説 | | | 教師がテキストの内容のデモンストレーションを行う。解説を聞きながら学生も同時進行で作業をし、試験で問われる内容を確認する。 | |
| 8 | テキスト内容のやりこみ | | | テキスト内容を何度もやりこみ、基本動作を定着させるとともに、正確に動作ができる訓練を行う。 | |
| 9 | スピードを意識した通し練習 | | | 試験時間内で正確かつ短時間で動作ができる練習を行う。 | |
| 10 | | | | | |
| 評価方法・成績評価基準 | | | 履修上の注意 | | |
| 課題内容 | 課題締切 | 検定合格 | | 「BIM」は、建築業界及び自分の可能性を広げるツールです。中でも「Revit」はこれから主流となっていくであろう重要なソフトの一つです。それを学生のうちに使いこなせるようになっておくことと社会に出るからの活躍の幅が大きく違うはずですが、ぜひいっぱい触って、楽しみながら技術を身に付けましょう。 | |
| 60 % | 10 % | 30 % | % | | |
| 成績評価基準は | | | | | |
| A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 | | | | | |
| 実務経験教員の経歴 | | 意匠設計実務4年 | | | |